

実践女子大学 常磐祭(学園祭)で発達の遅れがある子どもがカフェ店員として参加 スペシャルニーズのある子どもへのカルピス®つくりによるコミュニケーション発達支援の研究

実践女子大学（東京都日野市、学長 城島栄一郎）は、11月11日（土）に開催される常磐祭（学園祭）で、発達の遅れがあるS君（5歳）がカフェ店員として店頭立つ「なかよしカフェ」を実施します。

これは、生活科学部生活文化学科の長崎勤教授（専門：教育心理学、発達支援学）が研究代表者を務める「希釈飲料作成による発達障害児の他者意図理解・協同活動アセスメントと支援方法の開発」（文部科学省科学研究費補助金基盤研究C）の一環として行われるもので、カルピス®つくりを通して、“自分につくる”、“誰かのためにつくる”、“相手の好みに合わせて濃さを調整する”など、子どもに大切なコミュニケーション発達を促すものです。この活動は、2015年度にカルピス株式会社との共同研究としてスタートし、2016年度はアサヒグループホールディングス株式会社の寄付研究、2017年度は「なかよしカフェ」実施のための物品を提供いただくなど、多大な支援を受けて研究を行ってまいりました。

長崎教授の研究室では、2015年度よりゼミ活動の一環としてS君の発達の支援を行っており、月に2回、本学日野キャンパス内のプレイルームにて、言語面、認知面、運動面などの発達支援を行うほか、家庭や保育園での過ごし方などについて、保護者へのカウンセリングや保育園との情報共有を行うなどして、S君の能力を最大限に発揮させるための包括的発達支援に取り組んでいます。その中でS君は、サーキットトレーニング、ゲームや劇遊びを通じた言語指導などと合わせて、コミュニケーション発達を促す協働調理の一環としてカルピス®つくりにも継続的に取り組んできました。

この活動の一環として、常磐祭当日、長崎ゼミの学生17名がこれまでの取り組みを紹介しつつ、先着500名の方に無料でカルピス®をふるまう「なかよしカフェ」を出店します。この「なかよしカフェ」で約40分間、S君がカフェ店員となってお客様にカルピス®をつくり提供することに挑戦します。

つきましては、メディアの皆様には本件の取材、記事化をご検討いただきたく、ご案内する次第です。

取材につきましては、S君の撮影、実名での記事登場も可能です。また、S君の保護者、長崎教授、長崎ゼミの学生およびアサヒグループ担当者のコメントも提供いただけます。

なお本学常磐祭でS君がカルピス®つくりを行うことにあたり、長崎ゼミの学生たちには2つの強い思いがあります。ひとつは、普段と違う環境の中で、S君自身の力を最大限に引き出したいということ、そしてもうひとつは、地域の方が多数訪れる学園祭の場で、多くの方にS君の存在を見て、感じてもらいたい、S君を一人の人間として、当たり前のように自然に受け入れてもらいたいというものです。S君の活躍に加え、ぜひ学生たちの思いにも触れていただければ幸いです。

記

「なかよしカフェ」概要

日時：11月11日（土） 10：00～15：00

会場：実践女子大学日野キャンパス（日野市大坂上4-1-1 JR中央線日野駅徒歩12分）

1館1階学生ラウンジ

実施代表者：生活科学部生活文化学科 長崎 勤 教授

【タイムスケジュール】

10：00～ 「なかよしカフェ」オープン

13：00～13：40 S君登場（予定）

～15：00 「なかよしカフェ」閉店

★なお当日は、S君の体調等により時間が変更となったり、予定されている取り組みが実施できない等の不測の事態が発生する場合がありますので、なにとぞご了承くださいたくお願いします。

プレスリリースおよびプログラムの詳細、本件の取材に関するお問合せは下記へ

■実践女子学園 企画広報部、林鶴代、山口義憲

電話(042) 585-8804 E-mail：koho-ml@jissen.ac.jp